

さまざまな分野で活躍し、社会貢献した人を表彰する「春の叙勲」が、4月29日、内閣府から発表され、小谷博徳さん（上菅）が旭日双光章を受章しました。

春の叙勲

おめでとーうございます

【旭日双光章】（地方自治功労）

元日野町議会議員

ここに ひろのり
小谷 博徳 さん（上菅）



小谷さんは、平成15年5月から令和5年5月までの20年間、町議会議員として在職し、教育民生常任委員会副委員長、副議長などを歴任。平成27年5月から8年間は、議長として、議会の円滑な運営に尽力するとともに、地域住民の意向を議会に反映し、地方自治の発展に大いに貢献されました。

また、鳥取県西部町村議会議長会会長、鳥取県町村議会議長会副会長として、日野町の発展や広域行政、地方分権の推進にも尽力されました。



田植えの光景が水面に映る

秋には、同じメンバーで稲刈りを実施する予定です。

児童と日野高校の田植え交流は、日野学園開校前から続く伝統行事です。児童と生徒が交流し一緒に体験することで、お互い学び合い、成長することを目的としています。交流中は子どもたちの明るく元気な声が響き、明るい空気の中、日野高生が優しく教える場面も見られました。

農業を通し、^{まな}学び舎を超えて交流深める

日野高校と日野学園の田植え交流



元気に育ってね！アユを見守る子どもたち

5月24日、黒坂カワコふれあい公園で、ひのっこ保育所の年長児が、稚アユの放流（日野町水産振興連合会主催）を行いました。

アユを用意した同会員らが見守る中、元気よく跳ねる稚アユに「大きくなあれ！」と声をかけながら、約1万匹の稚アユを次々と日野川に放流していきました。

最後は、ビニールシートを使ってアユが入ったトラックから直接日野川へ。シートの上を元気よく滑るアユに、歓声を上げていました。

日野川の自然に親しむ体験を
ひのっこ保育所の園児がアユを放流



青パパイヤの苗を丁寧に植えていく参加者

立派な実がなりますように！
青パパイヤ定植ワークショップ

5月11日、青パパイヤ実験ほ場（久住）で、青パパイヤ定植ワークショップ（奥ひの青パパイヤ研究会主催）が行われました。
当日は、同研究会の会員、定植体験者によって、「フルーツチェ」や「ホープ」など4品種約50本の苗を農地に植えました。また、会場では青パパイヤを使用した巻きずし、青パパイヤの酒粕漬けとおにぎりセットなどが販売されました。
収穫は、秋ごろに行われる予定です。



快晴の中響きわたるもちつきのかけ声

感謝の気持ちを込めて、
振る舞う鈴原糯^{もち}
J A朝市記念餅つき大会

5月15日、J A日野支所前駐車場で、「J A朝市記念餅つき大会」が開かれました。
今年12月末までとなった朝市。これまでの感謝の気持ちを込めての開催となりました。日野町特産品鈴原糯を役場・J Aの職員、4人がかりでつきました。粘りがよいもちは、「げんざい」や「きなこもち」として来場者にふるまわれました。朝市も野菜や餅など売り切れが出るほどの大盛り上がりでした。
にこにこ朝市は毎週水・土曜日に朝8時から同会場で開催しています。

黒坂のまちなにぎわいを！

黒坂フェスタ「1日だけの復活！黒坂商店街」

6月2日、黒坂のまちなかで、黒坂フェスタ「1日だけの復活！黒坂商店街」（黒坂フェスタの会主催）が行われました。

黒坂の本通りを中心に、約30店が出店。閉店していた平野百貨店が1日だけ復活するなど、黒坂のまちなかがにぎわいました。また、鳥取大学の学生グループ「ばばのばプロジェクト」と「結梨」が出店し、駄菓子屋や、梨や柿を加工した商品を販売し、イベントを盛り上げました。



◀▼鳥取大学の学生グループ「ばばのばプロジェクト」と「結梨」が出店。



◀旧黒坂小学校校舎では、日野町リノベーションLab住民説明会を開催。令和6年度の事業概要や、これまでの活動についての説明が行われました。

